

JP-MIRAI 活動報告

TSC JAPAN株式会社 代表取締役
グローバル・ビジネス・アライアンス協同組合(略称:GBA) 代表理事
松本 伸彦

外国人のサポート



- 有料職業紹介業
- 特定技能登録支援機関
- 入国後講習センター
- 各種代行業務



- 技能実習生の監理団体
- 技能実習生の監理・サポート業務
- 外部監査・相談業務



特定非営利活動法人 グローバルアイ

- 在留外国人の就労支援
- 在留外国人の生活支援
- 在留外国人の在留資格サポート
- 在留外国人の相談窓口

在日ベトナム人のためのCOVID-19対策 帰国支援プロジェクト



在日ベトナム大使館・一般社団法人在日ベトナム人仏教信者会と連携し、弊社TSC国際研修センターにて帰国困難者受け入れボランティアを実施。

2021年3月から6カ月間で約400名のベトナム人を支援。

成田空港へ出向き、困っているベトナム人を支援



成田空港へ出向き、椅子や床に座り込んでいるベトナム人に声を掛け、寝食(しんしょく)のあてのないベトナム人を見つけたら声をかけては寮に連れて帰るという作業を繰り返し行いました。

骨肉腫を患い帰国した実習生



名古屋大学医学部のとある教授から、入国後4カ月の実習生が骨肉腫を患っていて、先が見えない状況の実習生を早期に帰国させ、家族と対面させてやってほしいとの連絡が入り、現地の病院の手配、チケットの手配などを行った。

妊娠を理由に会社を辞めさせられた実習生



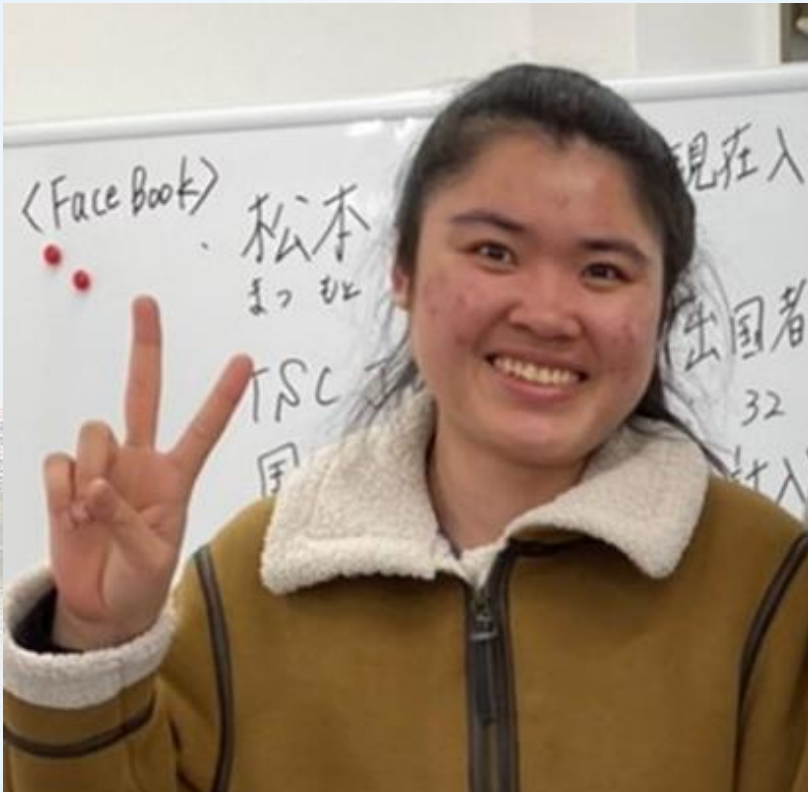
妊娠を理由に会社を辞めさせられた実習生を、毎月10名程保護しました。中には精神的に追い込まれていて、入所した晩に出血して救急車で搬送され、流産してしまった人もいました。

学校を退学させられた留学生



仮放免のままではアルバイトもできず、帰国するチケット代も稼げずにいましたので、東京入管に行き帰国準備の短期滞在に変更してもらうことで、週28時間の就労を認めってもらう事ができました。その後、彼は1年間のアルバイトをして、帰国のためのチケットとベトナムで産まれた子供用の品々を買って帰国することができました。

いじめを受け野宿していた実習生



- 技能実習生として2017年来日
- 実習実施機関で日本人からのいじめに合いながら3年間我慢をして実習終了
- その後特定活動で延長しましたが実習実施企業が倒産し、監理団体から派遣会社を紹介されるが、その派遣会社の寮は1LDKの5人部屋。先にいたベトナム人の先輩たちから台所や玄関で寝させられていて精神的に追い込まれる。
- 結果、失踪して公園で寝泊まりをしていた。

転籍、特定技能への手続きの支援



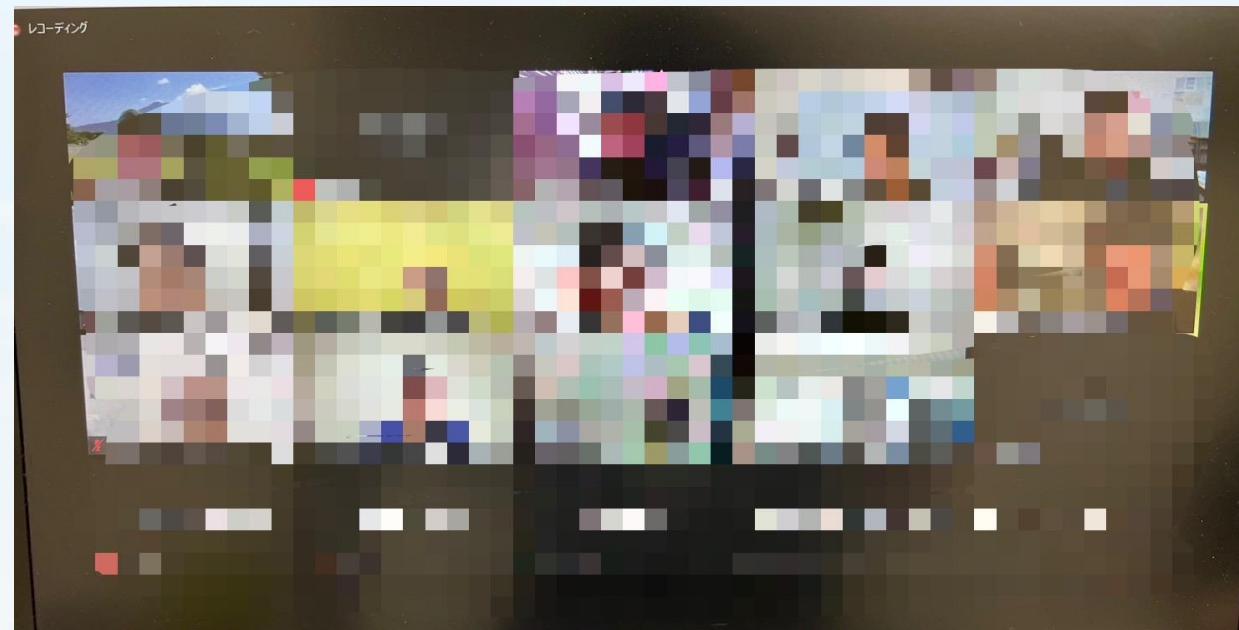
まだ働きたいと言う実習生たちに対しては転籍を支援し、特定技能への変更手続きの支援も行いました。

ベトナム訪問時の様子



今年3月にベトナムを訪問した際にも、その時に支援した元実習生たちがFacebookを通じて私の訪問を知り、ご飯をともにすることができとても感動的でした。

他団体との繋がり



技能実習生や特定技能の人たちへの考え方が同じ監理団体や登録支援機関と繋がっていく活動をしています。現在15団体くらいですが3カ月に一度、皆さんとZOOMにて情報共有などを行っています。

入国後講習センター



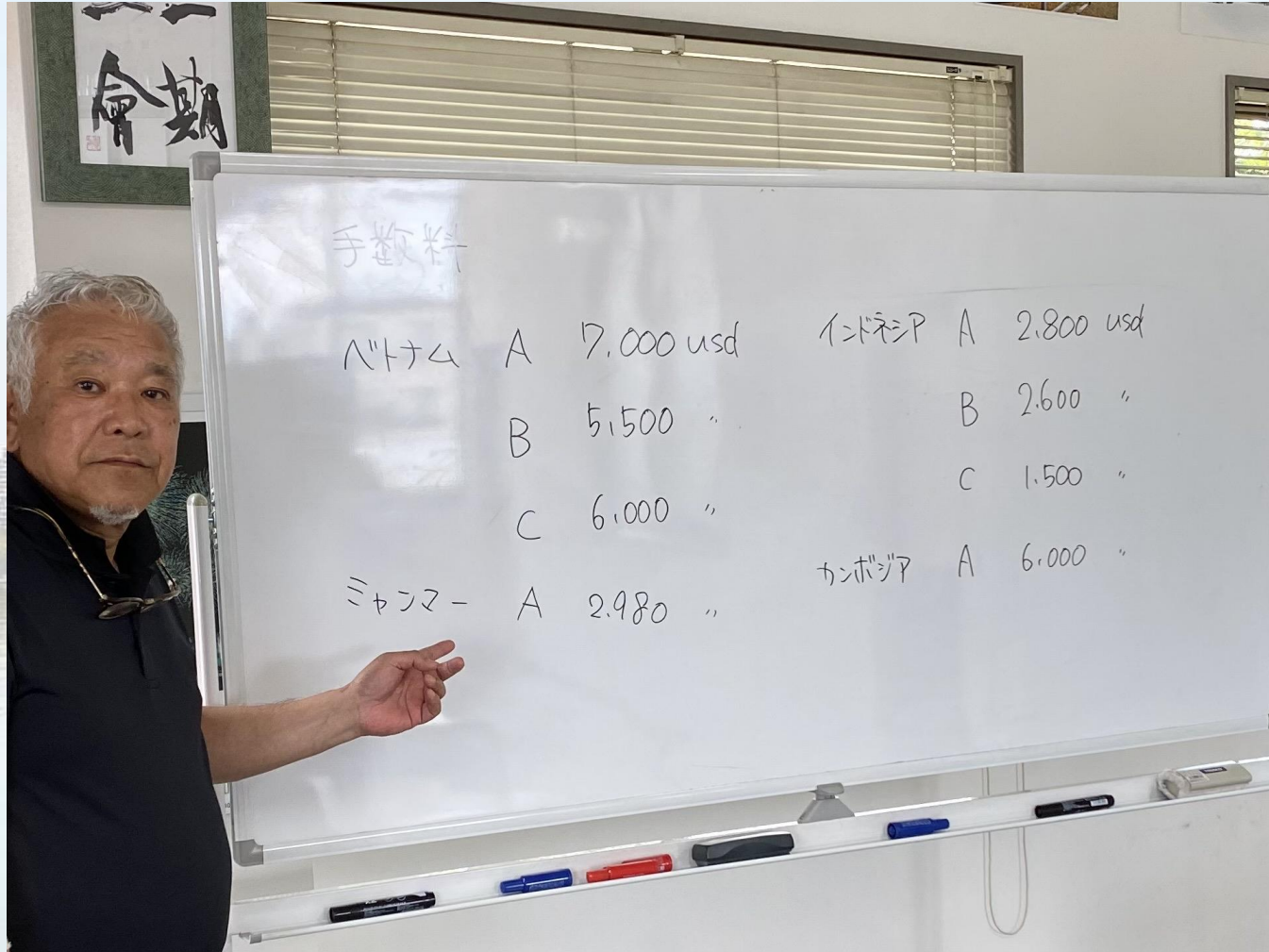
週2回の公園での運動、運動する前には公園を利用させていただいている気持ちを表すためにゴミ拾いを全員で行っております(地域社会への貢献)。また音楽の授業(日本語の歌)、かるた、習字なども行ってカリキュラムに入れております。成田という立地を活かし、成田山新勝寺の見学も行っていて、日本の文化に触れる授業もごさいます。

むすびの会



成田市のボランティアの皆さんによる「むすびの会」は月に一度、おむすびの作り方を勉強しながら、ボランティアの方々と一緒に昼食を取っていただくというイベントです。ボランティアの代表は、遠い国からわざわざ日本を選んできてくれた外国人に、おむすびを通じて応援している日本人がいるということを知ってほしいのです、と話されていました。

実習生の手数料問題



送出し手数料 (当センター調べ)

・ベトナム

A社→7,000usd
B社→5,500usd
C社→6,000usd

・インドネシア

A社→2,800usd
B社→2,600usd
C社→1,500usd

・ミャンマー

A社→2,980usd

・カンボジア

A社→6,000usd